

平成 30 年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	空き店舗を利用した「むらびとサロン」リノベーションプロジェクトII
事業主体 (連絡先)	特定非営利活動法人地域創生研究所あつまれむらびと (事務局担当理事 池田 剛 090-4720-0241)
事業区分	その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト/ハード
総事業費	1,208,545 円 (うち支援金 : 916,000 円)

事業内容

持続可能な地域社会を構築する諸活動を保障するサロンを空き店舗に作ることを通して、村内外の地域に関心を持つ人々「むらびと」が集まり交流する機会と、自分たちで地域の課題の一つを解決する機会とする。

- 信州大学工学部建築学科学生、大学院生有志のデザイン、設計
- 学生のリノベーション2期工事6月～11回
- 8/25 住民との多機能家具作りのワークショップ
- 1/29 完成イベント長野県立大学但馬武氏による講演会「地域と社会を楽しくする小さな一歩の始め方」



【大学生によるワークショップ】

【目標・ねらい】

- ① 学生とのリノベーション
- ② 住民とのワークショップ
- ③ 完成イベント
- ④ 地域課題を解決する場づくり

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 12/20 完成。31年度も継続していく。自主企画への希望を提案したり冬のスキー場イベントに自分たちで訪問、地域の一人暮らしのお宅に宿泊するなど絆を深めている。
- ②→地域の小中学生の参加、大学生との交流。デザイン、建築の話も聞いて自分のキャリア学習をする中学生など村外の異世代との交流で多様な効果を生んだ。
- ③ソーシャルビジネスなど地域活性化につながる新鮮で有効な情報や個々へのアドバイスをいっただいて勇気づけられたという参加者多数。地域の課題解決に対する意欲喚起につながった
- ④諸団体からのサロン活動の企画持ち込み、相談(早稲田大学学生によるサロン、元地域おこし協力隊員によるミニコンサートサロン、子育ての母親の団体からの子どもカフェ企画など)
 - ・地域の高齢者からの昼間のサロンの要望

※自己評価【 A 】

【理由】

- ・県外出身の大学生との交流が根付き始めた。
- ・完成したことで住民の意欲を喚起し企画が持ち込まれたり、提案されるようになった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- 地域の諸団体や個人、村外の大学生の「やりたい、やってみたい」を応援する場所の運営
 - ・高齢者のサロン活動・子どもカフェ・チャレンジショップ・大学生によるワークショップワークショップ他
- 大人の学びの場の運営
 - ・地域づくりに関する先進事例や情報を得て地域の課題に主体的に取り組んでいく大人の学校

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

- 「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
- 「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある